

大学における ライティング支援

— 高大接続で考えるライティング力の涵養 —

ライティングセンターを設置する大学が増え、学生の書く力を育むための取り組みが盛んに行われています。中等教育においても新学習指導要領にて、言語能力の確実な育成を目指し、各教科等における言語活動（自らの考えを表現して議論すること、観察や調査などの過程と結果を整理し報告書にまとめることなど）を充実させることが改定のポイントとして提示されています。このような状況に鑑み、今後、高等教育ではライティング教育・学習支援をどう推進し、学生の書く力を育み、高大接続を促すことが望ましいのか検討します。

参加費
無料

プログラム

- 13:00 **開会挨拶・趣旨説明**(10分)
中澤 務(関西大学 文学部 教授 ライティング支援プロジェクト 代表者)
- 13:10 **講演**(50分)
森 朋子(関西大学 教育推進部 教授)
「高校の学びから大学への接続を考えるー探究活動を例にー」
- 14:00 休憩(5分)
- 14:05 **事例紹介1**(30分)
飯野 朋美氏(津田塾大学 ライティングセンター特任講師)
「個別相談によるアカデミック・ライティング支援ー津田塾大学での活動事例から」
- 14:35 **事例紹介2**(30分)
岩崎 千晶(関西大学 教育推進部 准教授)
多田 泰紘(関西大学 教育推進部 特別任命助教)
「ICTを活用したライティング力を育む学習支援環境のデザインー関西大学におけるライティングラボの事例からー」
- 15:05 休憩(10分)
- 15:15 **トークセッション**(40分)
飯野 朋美氏(津田塾大学)、森 朋子(関西大学)、
岩崎 千晶(関西大学)、多田 泰紘(関西大学)
- 15:55 **閉会挨拶**(5分)
良永 康平(関西大学 副学長 経済学部 教授)

■書籍のご案内

『大学におけるライティング支援ーどのように書く力を伸ばすかー』
関西大学ライティングラボ・津田塾大学ライティングセンター(編) 東信堂、2019年刊行

2012年度から2016年度までの間に関西大学ライティングラボが津田塾大学ライティングセンターと連携して取り組んだ成果を中心に、個別指導、正課外講座、eポートフォリオやルーブリックの開発、ICTを活用した支援、正課教育との連携などを余すところなく掲載しています。教職員と院生チューターが「書く力」の指導・支援に向けて、粉骨砕身した足跡を少しでも感じていただければ幸いです。



日時

2019

12/14(土) 13:00~16:00
(12:30から受付開始)

場所

関西大学 千里山キャンパス
第2学舎2号館 C303教室

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
阪急電鉄「関大前」駅 下車 徒歩8分

対象

本学教職員(非常勤講師含む)、
他大学の教職員および一般の方

申込方法

下記Webサイト内の「申込フォーム」から、
12月11日(水)までにお申込ください。



申込フォームURL

http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/news/1214_22fd.html
申込多数の場合は、受付を締め切ることでもありますので、
早目にお申込ください。

当日の資料は、デジタルデータで閲覧いただくように準備していますので、お持ちのデバイス(PCやタブレット等)をご持参ください。資料配布は行いません。



お問い合わせ

関西大学 教育開発支援センター 事務局 担当:西脇・土井
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-0234



関西大学